

科目名	現代教育理解		
教員名	野田 健司		
授業種別	週間授業	授業形態	講義
開講間隔	週 1 回	単位数	2
履修年次	1	学期	2021 年度 後期
到達目標	<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>国際化や情報化が進展する我が国において教育の役割は重要である。こうした認識に立って、これまで築きあげられてきた教育について理解する。そのため、以下の目標を掲げる。</p> <p>①今日の教育改革の考え方や施策について知る。 ②国際社会の教育政策や学力について認識する。 ③新しい教育の考え方に基づく具体的政策について理解する。 ④新しい教育課題に対する教育課程について考察する。</p>		
授業概要	<p>本授業においては、上記の到達目標を踏まえて現代日本の教育が抱える様々な教育課題について学ぶ。我が国が国際社会の一員であることから、それが国の教育政策にどのように反映しているかを考える。また、現代の子どもや地域社会やの動向に目を向け、新しい子ども観に立って、どのような教育や学習活動が必要なのかを理解するとともに、新しい教育課程についてアクティブ・ラーニングの学習方法を通して、考察する。</p>		
授業計画	<p>第 1 回 現代の教育改革の動向（オリエンテーション） 第 2 回 現代学校教育の変遷ー戦後教育課程の変遷ー 第 3 回 国際社会の教育改革ーEU, アメリカー 第 4 回 学校におけるいじめ・体罰問題 第 5 回 主体的・対話的で深い学び 第 6 回 人生 100 年時代の教育 第 7 回 地域社会と学校ーコミュニティースクールー 第 8 回 ESD 教育と SDGs 第 9 回 多文化共生社会の教育 第 10 回 健康教育といのちの教育 第 11 回 学校への保護者・近隣住民からのクレーム 第 12 回 教育機会確保と夜間中学 第 13 回 人権教育 第 14 回 学校教育の課題ー母校訪問インタビュー 第 15 回 これからの新しい教育（まとめ）</p>		
授業方法	<p>授業の多くは講義と共に、学生諸君の発表を求めたり、グループディスカッションや相互学習をする。講義は、可能な限り平易な説明に努めるので、理解に努めてほしい。そのためには、日ごろから新聞を読むとか、予習に努めてほしい。</p>		
アクティブラーニングの視点	<p>問題解決学習としてのグループ・ディスカッションやケーススタディーやプレゼンテーションを取り入れ、主体的な学習方法に努める。</p>		
授業外学習	<p>日頃から、新聞等の教育の記事に注目し、内容理解に努め、予習に努める。 授業後は、復習に努め省察力を高め、学習内容の理解を深める。</p>		
教科書	<p>古川治編著 『教師のための教育法規・教育行政入門』 ミネルヴァ書房 2018 年</p>		
参考書	<p>古川治編著 『改訂新版 教職をめざす人のための教育課程論』 北大路書房 2019 年 他 授業中に適宜紹介する。</p>		
評価方法	<p>適宜、課題レポートを課す。(50%) 授業で課題研究の成果を発表する。(50%)</p>		
既修条件			
実務経験のある教員による授業	<p>長らく学校現場と教育行政に携わってきた経験を有する教員が、その経験を活かして、現代教育理解の概要について解説する。</p>		